

# 経済建設常任委員会

## 委員会メンバー

桐原純男委員長、笠野眞喜副委員長、後藤征昭委員、今村竜喜委員

## 所管課

農政課、建設課

## 環境保全型農業総合支援事業は

### 〈桐原委員長〉

環境保全型農業総合支援事業には個人負担が事業費の1/2あったと思うが…。

### 〈農政課長補佐〉

環境保全型農業総合支援事業については、3戸以上の生産団体で行う堆肥舎（196㎡）の建設費用。1/2は県の補助金、1/2は受益者負担となる。村費の持ち出しはない。堆肥センター工事についても地下水保全事業として県から半額補助を利用して建設する。

## 土地改良区補助金は

### 〈桐原委員長〉

土地改良区補助金の内訳は。

### 〈農政課長補佐〉

久木野土地改良区・白水土地改良区の事務費補助。この委員会の懸念事項でもある。昨年9月土改連に出向き、今後の在り方について協議。改良区としても年度途中で当初予算

化していたこともあり、事務員の給与を再任用の給与体系に見直すと、不足が生じるため手続きを踏んでいく。30年度は村が示す再任用の給与体系で行く。

## 防火帯の見直しは

### 〈後藤委員〉

今年も野焼きができない状態、防火帯の見直しや、現場に行くまでの道が崩壊している。その後の取り組みは。

### 〈農政課長〉

農道、牧道など被災、災害復旧工事で逐次発注している。恒久的な防火帯は必要だと考えている。

### 〈後藤委員〉

この機会に大幅な見直しを、入会権放棄の話も出てきている。全体的な把握はできているのか。

### 〈農政課長補佐〉

白川地区などは特に崩落が多く完全に把握できていない。できる限り復旧を進めていこうと話し合いを行っている。

## 災害公営住宅用地購入費とは

### 〈建設課長からの説明〉

災害公営住宅、用地購入費で4050万円予算計上。河陽・立野地区には建設を進めている。黒川地区西部にも必要ということで考えていたが、下野山田仮設団地の地権者と現段階で交渉中、今後の住宅再建を考えた場合、対応が必要。用地の場所については未定。

### 〈後藤委員〉

見極めの時期は。

### 〈建設課長〉

時期についてははっきりと確定していない。

### 〈今村竜喜委員〉

新聞に掲載されたので、場所について問われる。情報が共有されないこと事後承認になる。

### 〈桐原委員長〉

事情はわかるが、公開していただきたい。

### 〈建設課長〉

十分注意して今後は進めていきたい。協議後、見えてきたら説明していきたい。

## 県道河陰阿蘇線は

### 〈笠野副委員長〉

河陰阿蘇線はどうか。

### 〈建設課長〉

県議会終了後、測量設計を行い、いと振興局から説明を聞いている。小規模改良の工事関係について、

工事請負費を11億4390万円計上、被害の大きかった6地域で、村づくり協議会が形成され、村道の改良、委託料等について計上、用地買収についても進める。



黒川地区の県道予定道

## 委員長報告

本委員会に付託された、平成29年度補正予算及び平成30年度予算について各課より説明を受けた後、質疑を行い慎重審議した。

表決の結果、全員賛成をもって可決すべきものと決定した。